

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

11月も最終日を迎えました。2学期も残すところ、3週間あまりとなり、いよいよまとめの時期に入ります。

新型コロナウイルス感染が拡大しています。小中学校においても学級・学年閉鎖が出ています。あわせて、インフルエンザの感染も懸念されるところです。各学校・園では、これまで大事に取り組んできた感染対策を継続していくしかないと思いますが、引き続きよろしくをお願いします。



さて、当センターでは、今年度26講座を実施してきましたが、残すところ4講座となりました。いずれも3学期に予定していますのでご参加をよろしくをお願いします。詳細については、研修ニュースでお知らせします。

B-15	食物アレルギーに関する研修	1月16日(月)	15:00~16:30
B-1	特別支援教育連続講座④	1月24日(火)	15:30~17:00
B-16	郷土教育	1月26日(木)	15:30~17:00
B-3	人権・同和教育連続講座③	※日は未定	15:00~17:00

「ふれあい発表会」を開催しました♪

11月14日(月)の週から、昼休みや午後に、ふれあい発表会に向けて練習する楽器の音がよく聞こえるようになりました。そして、日を追うごとに音色が変化していく様子が1階の事務室にいてもはっきりと伝わってきました。

そして当日を迎え、11月25日(金)18時から、「ふれあい発表会」を開催しました。今年度も招待する方を限定せざるを得ませんでした。昨年度よりも多くの方に案内をさせていただきました。その結果、約100名の方が参加され、子どもたちの頑張りにより大きな拍手を送っていただきました。



体育館内に、通級生が作った「羊毛フェルトのれん」、「ランブシェード」、「ひょうたんアート」、「あおむし集合」(折り紙であおむしを製作)を展示するとともに、これまでの活動の様子を撮影した「ふれあいアルバム」を掲示しました。

オープニングでは、子どもたちが進行しながら「頭の体操～ふれあいクイズ」を行いました。ふれあい教室での活動について紹介する内容で興味深かったです。音楽活動では、



「上野天神まつり」をテーマに、講師としてお招きした恒岡さん・宮島さんに支援を受けながら「リズム遊び」を行いました。参加された皆さんにも鳴子を持って演奏を楽しんでいただきました。最後に、子どもたちが心をつなげて「ハピネス」の合奏を行いました。アンコールに少し照れながらも一生懸命演奏する姿が感動的でした。参加いただいた方にクイズやリズム遊びなど、たくさんご協力いただき、とても温かい発表会になりました。ありがとうございました。

Q-U 調査(2回目)の効果的な活用を!

現在、各学校において2回目のQ-U調査に取り組まれていることと思います。すでに提出いただき、結果をお返しした学校もありますが、効果的な活用をよろしくお願ひします。

先日の研修講座では、Q-U調査の活用について学ぶ機会を持ちました。研修ニュース(第358号)に以下のように記載しています。

初めに、Q-Uは、あくまでもツールであり、結果を読み解き、児童生徒とのコミュニケーションや学級経営に活かしていくことが大切であるという話があった後、具体的にQ-Uを活用していくうえで大切にしたいこととして以下の点を学びました。

(大切にしたいこと)

- ①教師自身がQ-Uの質問項目を読み、質問の内容(意図)を理解する。
- ②質問項目の内容と児童生徒一人ひとりの回答を照らし合わせながら見る。
- ③児童生徒の回答からその子にとって何が承認で何が侵害なのかを読み取る。
- ④児童生徒の回答が普段の様子と一致しているかどうかを見る。

大切にしたいことの4点目に関わって、普段の様子と回答が一致していない場合は、なぜ一致していないのかを考える必要があることを教えていただきました。理由として考えられることは、本人が質問項目に対して偽って回答している場合、質問内容が理解できずに回答している場合、そもそも回答する元気がない場合などがあることがわかりました。

気になる子どもが、2回目の調査においてどう回答しているか、各項目をぜひ確認してみてください。

雑感:ふれあい発表会に向けて全員が揃って練習することがなかなかなく本番を迎えたという感がありましたが、これまでの関わりやチームワークを大事にしながら、本番で最高の力を発揮するという「伝統」を今回もさらなるパワーアップで実現できたのではないかと思います。そして、何より一人ひとりの真剣さと笑顔がすばらしかったと実感しています。発表の時間だけでなく、それまでの練習や前日の会場設営に係る準備・終了後の片付けなどで自ら考え行動する姿をたくさん見ることができたこともとてもうれしいことでした。発表会を終えて帰っていく中3生と少し話をしましたが、最後の発表会をやり切ったという表情が輝いていました!たくさんの保護者の皆様や教職員の方々にご覧いただき、大きな拍手をいただけたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。新型コロナウイルス感染が再拡大してきていますが、感染対策をしっかりと行う中で、このような発表の場を創っていくことが子どもたちの大きな成長につながるということを改めて実感した一コマでした!